

4 家庭生活について

(1) 乳児や就学前の幼児の有無と、平日の日中に幼児等の世話をする人

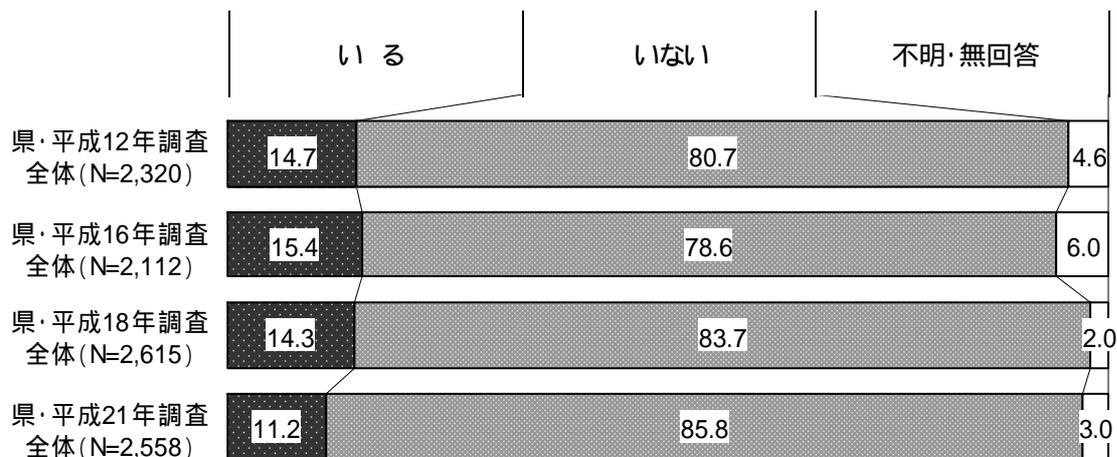
【分析のまとめ】

県調査では乳児等の世話は主に「母親」または「保育所、託児所などの保育施設」で行っている状況となっています。

県調査では平成16年以降、乳幼児のいる家庭は減少し、平成21年には11.2%となっています。そのうち乳幼児の世話を主にしている人は、「母親」が最も多く5割以上の回答がみられます。次いで「保育所、託児所などの保育施設」となっています。その時系列変化をみると、増減はみられるものの「母親」は年々減少し、「保育所、託児所などの保育施設」は年々増加傾向にあります。

問10. あなたの家庭には、乳児や就学前の幼児がいますか。次の中から1つ選んで 印をつけてください。

問10 乳児や就学前の幼児の有無 【全体】



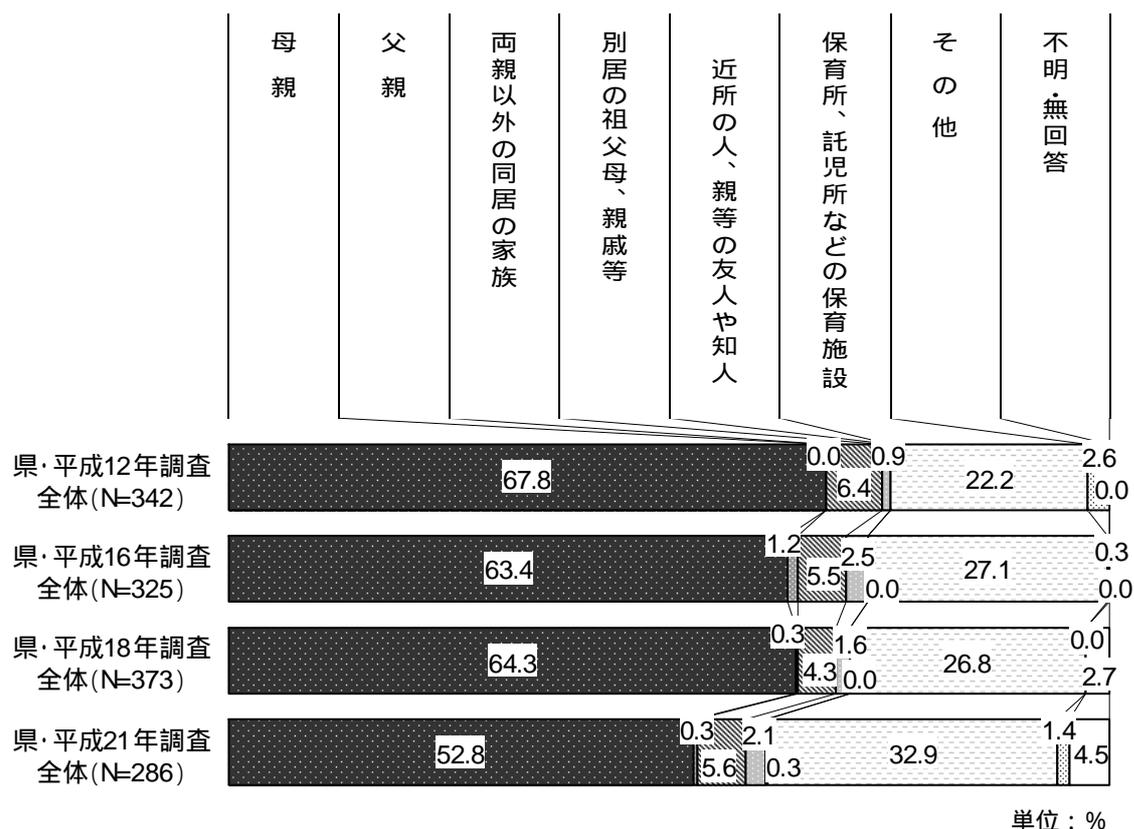
単位：%

県の平成12年調査、平成16年調査、平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「いる」と答えた人の割合は、平成16年から平成21年にかけて減少しています。

「いない」と答えた人の割合は、平成16年から平成21年にかけて増加しています。

問 10 - 1. 平日の日中、その乳幼児の世話は主に誰がしていますか。次の中から1つ選んで 印をつけてください (その子どもからみた続柄でお答えください)

問 10 - 1 平日の日中に幼児等の世話をする人 【全体】



注： 印の付いた項目（選択肢）は、平成 16 年調査、平成 18 年調査及び平成 21 年調査のみの項目（選択肢）です。

県の平成 12 年調査、平成 16 年調査、平成 18 年調査、平成 21 年調査を比較すると、各年ともに「母親」が高くなっていますが、平成 12 年、平成 16 年、平成 18 年は 6 割以上となっているのに対して、平成 21 年は 5 割強と大きく減少しています。

「保育所、託児所などの保育施設」と答えた人の割合は、平成 12 年から平成 21 年にかけて増減がみられるものの増加傾向にあります。

(2) 日常的に手助けが必要な高齢者等の有無と、その世話をする人

【分析のまとめ】

県調査では身近な身内に、日常的に手助けが必要な高齢者等がいる人が増加傾向にあります。将来、誰に介護してほしいかについては、老人ホームという希望が増加していますが、現実にはその割合は低く、現実と希望で差がみられます。

身近な身内に日常的に手助けが必要な高齢者等がいるかについて県調査の時系列変化をみると、「いる」と答えた人の割合は平成 12 年から平成 18 年にかけて増加し、3 割近くに達しています。

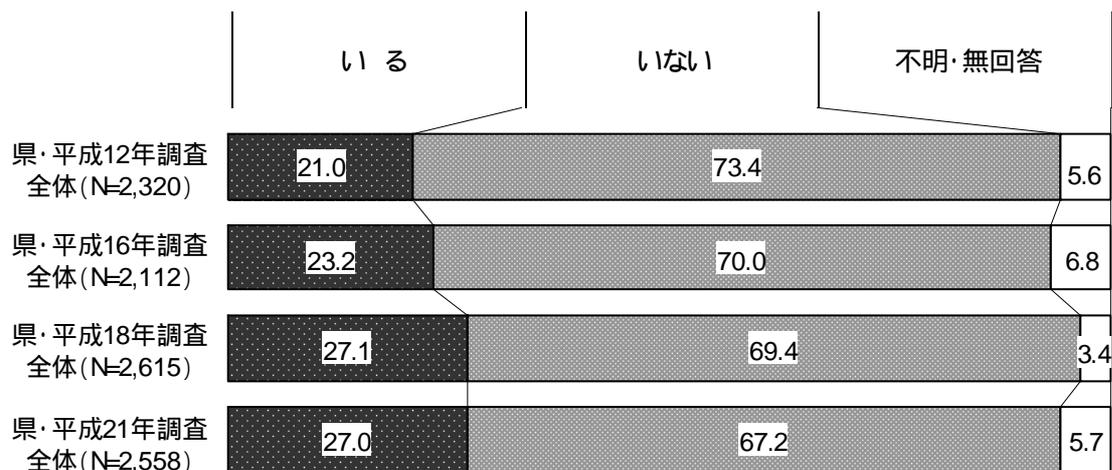
高齢者等の世話を主に誰がしているかについて時系列変化をみると、「妻」と答えた人の割合は年々減少し、平成 21 年には 19.8% となっていますが、「息子」、「娘」と答えた人の割合が年々増加傾向にあり、平成 21 年にはそれぞれ 7.7%、14.6% となっています。また、「息子の妻」と答えた人の割合は、平成 12 年調査では 19.1% になっていましたが、平成 12 年から平成 21 年にかけて増減を繰り返し、平成 21 年には 15.8% と減少しています。

将来、誰に介護をしてほしいかについては、「配偶者」と答えた人の割合が年々大きく減少し、平成 21 年には 29.9% と 3 割を切っている一方で、「老人ホームなどの施設」と答えた人の割合は年々増加し、平成 21 年には 27.3% と約 3 割に近づいています。

「息子」に将来介護してほしいと答えた人の割合は、各年ともに 2% 前後とほぼ横ばいなのに対して、現実に「息子」が高齢者の世話をしている割合は平成 12 年から平成 21 年にかけて 4 ~ 8% と増加傾向にあります。また、「老人ホームなどの施設」に介護してほしいと答えた人の割合が年々増加しているのに対して、現実に「老人ホームなどの施設」が世話をしている割合は各年ともに 14 ~ 15% 前後とほぼ横ばいとなっており、現実と希望では差がみられます。

問 11. あなたの身近な身内に日常的に手助けが必要な高齢者等がいますか。次の中から1つ選んで 印をつけてください。

問 11 日常的に手助けが必要な高齢者等の有無 【全体】



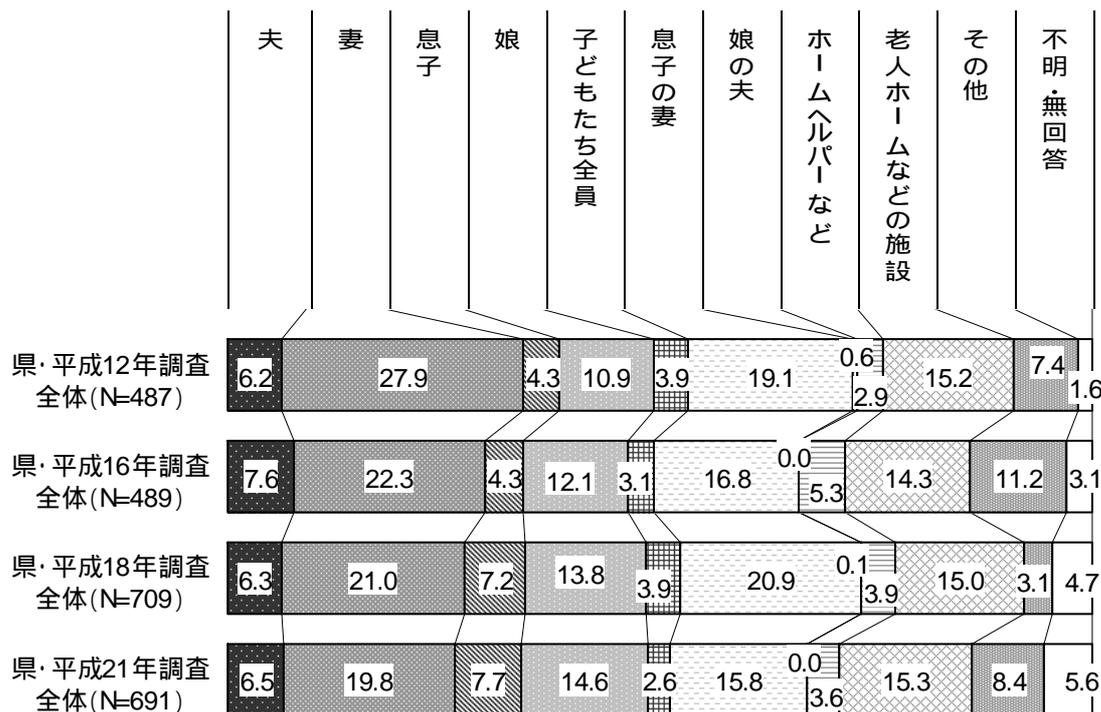
単位：%

県の平成12年調査、平成16年調査、平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「いる」と答えた人の割合は平成12年から平成18年にかけて増加し、平成21年にかけて若干減少しています。

「いない」と答えた人の割合は、平成12年から平成21年にかけて減少しています。

問 11 - 1. その高齢者等の世話は、主に誰がしていますか。次の中から1つ選んで 印をつけてください。
(その人からみた続柄でお答えください)

問 11 - 1 主に高齢者等の世話をする人 【全体】



単位：%

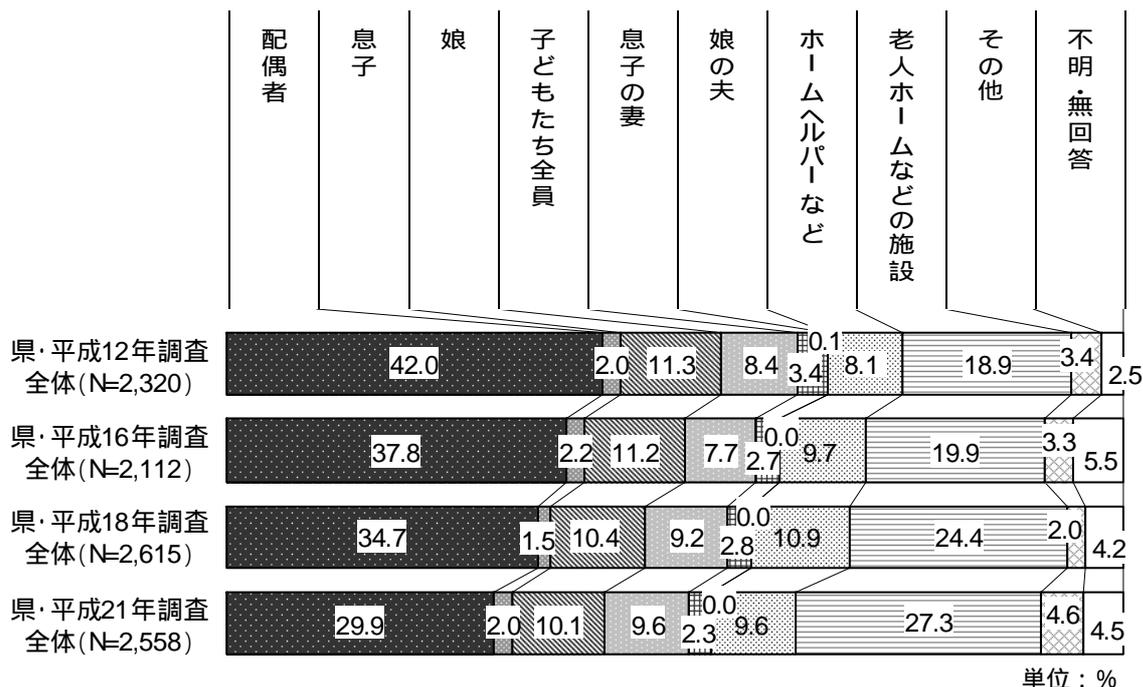
県の平成12年調査、平成16年調査、平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「妻」と答えた人の割合は平成12年から平成21年にかけて減少しているのに対して、「息子」、「娘」と答えた人の割合は増加しています。

また、『男性』と答えた人の割合をみると、平成12年から平成21年にかけて増加しており、平成21年では14.2%となっています。『女性』と答えた人の割合をみると、平成12年から平成21年にかけて増減を繰り返しており、平成21年では平成18年を下回り50.2%となっています。

『男性』は、本来の選択肢の「夫」と「息子」と「娘の夫」の割合を合計したものです。また、『女性』は、「妻」と「娘」と「息子の妻」の割合を合計したものです。

問 12. あなたは将来、主に誰に介護をしてほしいと思いますか。次の中から1つ選んで 印をつけてください

問 12 将来誰に介護されたいか 【全体】



県の平成12年調査、平成16年調査、平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「配偶者」と答えた人の割合は、平成12年から平成21年にかけて大きく減少しています。「老人ホームなどの施設」と答えた人の割合は、平成12年から平成21年にかけて増加しています。

また、『女性』の割合をみると、平成12年から平成21年にかけて減少しており、平成21年では12.4%となっています。『男性』の割合は各年ともに3%以下となっており、平成12年から平成21年にかけて増減を繰り返し、平成21年では増加しています。

『男性』は、本来の選択肢の「息子」と「娘の夫」の割合を合計したものです。また、『女性』は、「娘」と「息子の妻」の割合を合計したものです。

(3) 老後の生活の不安について

【分析のまとめ】

県調査では老後の生活の不安について、最も高いのは「健康のこと」ですが、男性では「配偶者に先立たれること」、女性では「生活費のこと」についても高くなっています。

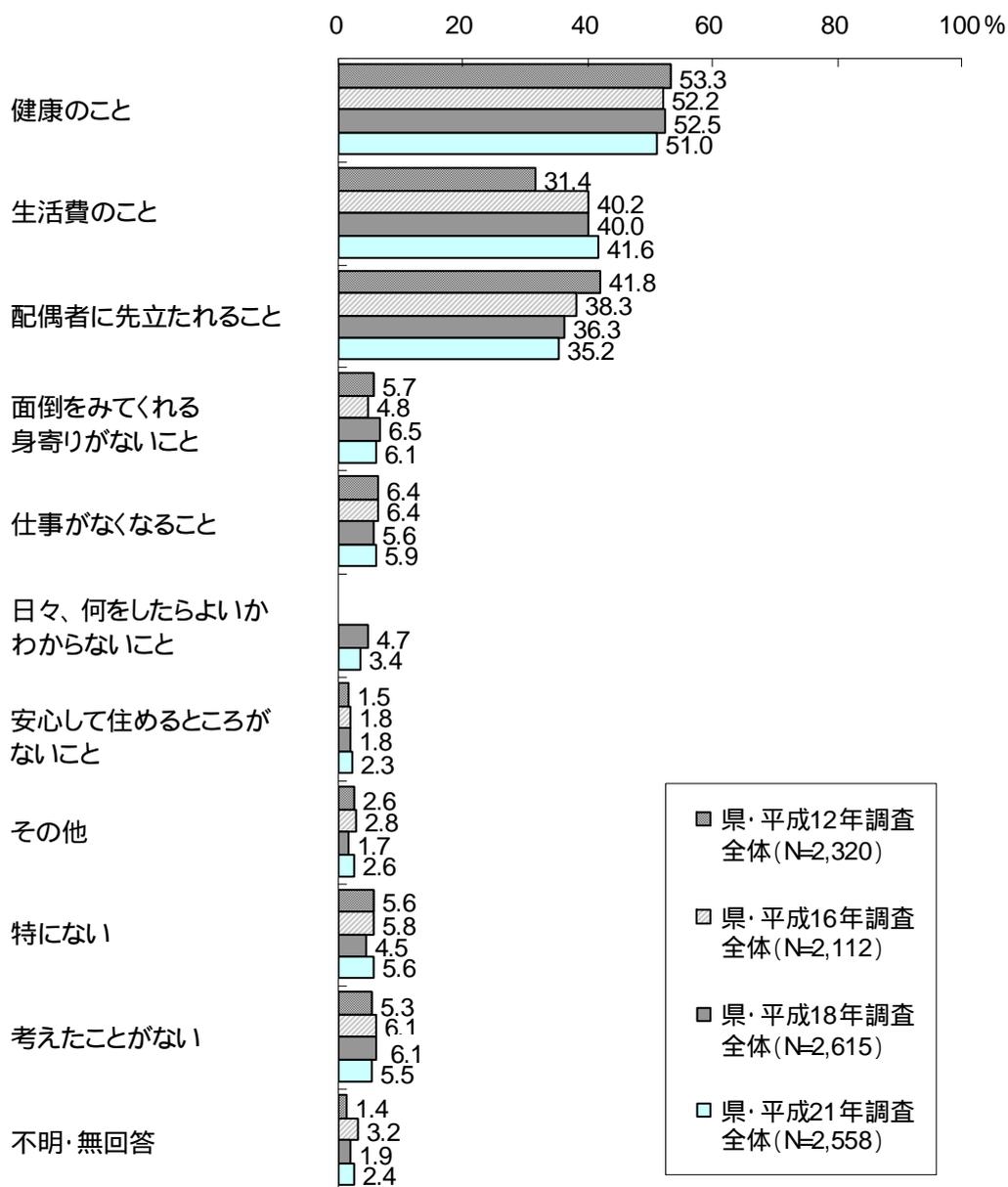
県調査では老後の生活の不安については、「健康のこと」が各年ともに全体で5割を超えて最も高くなっており、特に女性で高くなっています。

また、「生活費のこと」については、平成16年以降、全体で4割を超えて高くなっており、特に女性で高くなっています。

「配偶者に先立たれること」については、平成12年から平成21年にかけて減少しているものの、平成21年で35.2%となっています。男女別にみると、特に男性で高くなっており、4割を超えています。

問 13. あなたは老後の生活について、何か不安に思うことがありますか。次の中から2つ以内で選んで 印をつけてください。

問 13 老後の生活の不安について 【全体】

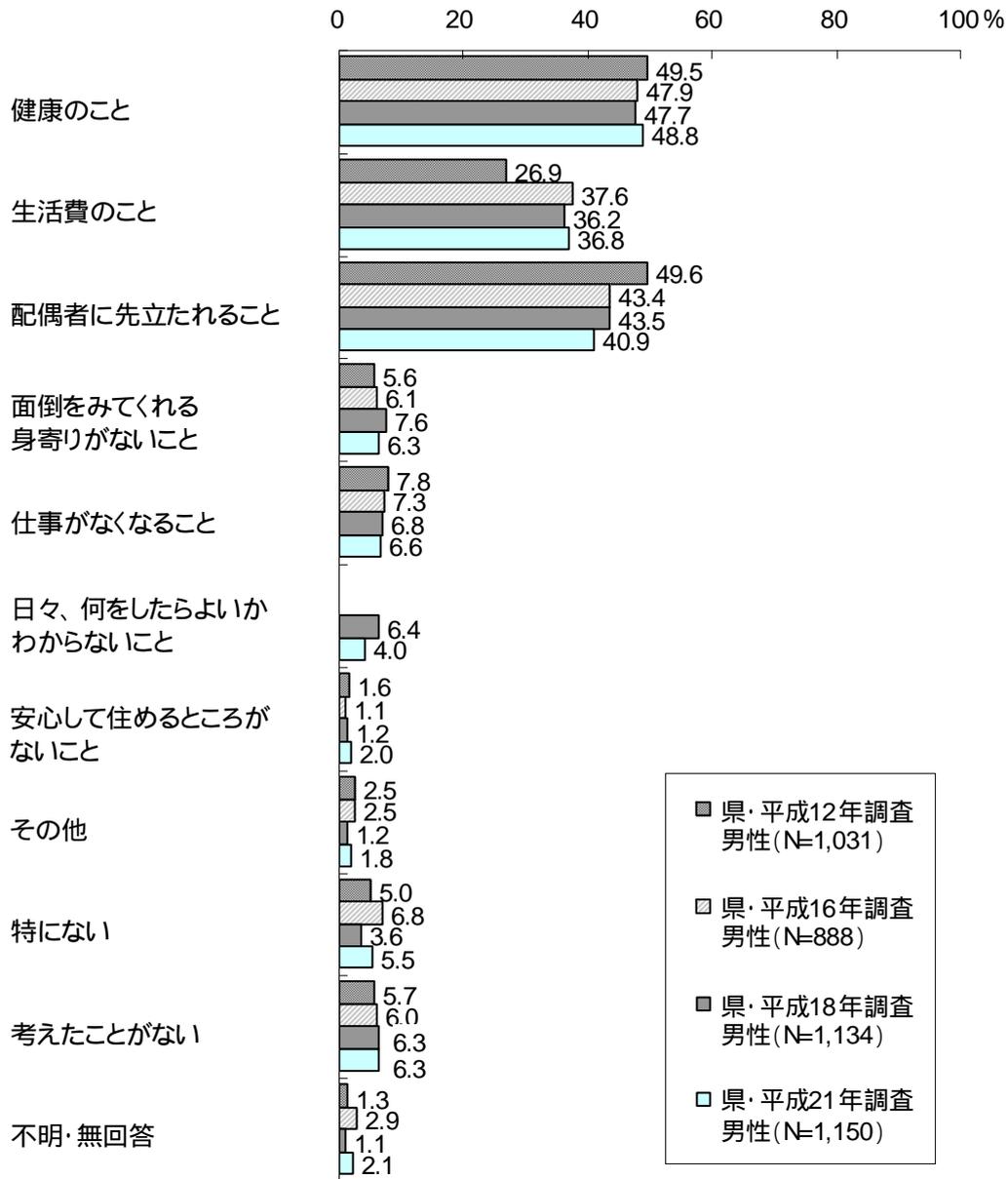


注： 印の付いた項目（選択肢）は、平成 18 年調査と平成 21 年調査のみの項目（選択肢）です。

県の平成 12 年調査、平成 16 年調査、平成 18 年調査、平成 21 年調査を比較すると、各年ともに「健康のこと」が最も高く、「生活費のこと」、「配偶者に先立たれること」についても高くなっています。

「配偶者に先立たれること」と答えた人の割合は、平成 12 年から平成 21 年にかけて減少しています。

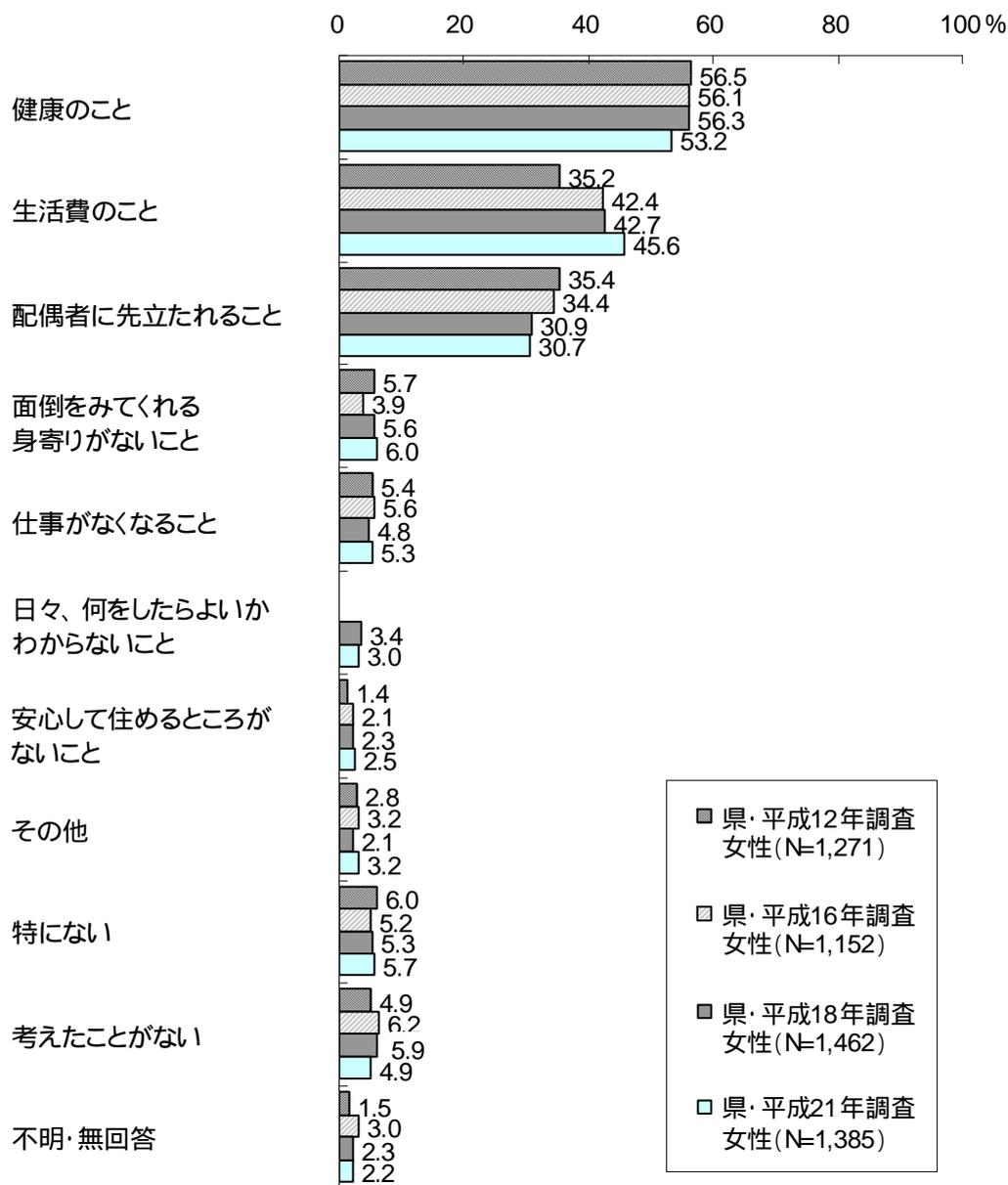
問 13 老後の生活の不安について 【男性】



注： 印の付いた項目（選択肢）は、平成 18 年調査と平成 21 年調査のみの項目（選択肢）です。

県の平成 12 年調査、平成 16 年調査、平成 18 年調査、平成 21 年調査の男性を比較すると、「健康のこと」、「生活費のこと」、「配偶者に先立たれること」について高くなっています。「生活費のこと」と答えた人の割合は、平成 12 年と比べ平成 16 年、平成 18 年、平成 21 年は 10 ポイント程度高くなっています。「配偶者に先立たれること」と答えた人の割合は、女性と比べると各年ともに高くなっています。

問 13 老後の生活の不安について 【女性】



注： 印の付いた項目（選択肢）は、平成 18 年調査と平成 21 年調査のみの項目（選択肢）です。

県の平成 12 年調査、平成 16 年調査、平成 18 年調査、平成 21 年調査の女性を比較すると、各年ともに「健康のこと」が最も高く、「生活費のこと」、「配偶者に先立たれること」についても高くなっています。

「配偶者に先立たれること」と答えた人の割合は、平成 12 年から平成 21 年にかけて減少しています。

「健康のこと」、「生活費のこと」と答えた人の割合は、男性と比べると各年ともに高くなっています。

(4) 自分のために使える自由な時間について

【分析のまとめ】

県調査では自分のために使える時間は、平日・休日ともに増える傾向がみられます。

県調査では平日に自分のために使える時間についてみると、平成 21 年調査において、「自由な時間はほとんどない」、「1 時間位」、「2 時間位」と答えた人の割合が、平成 18 年に比べそれぞれ 1 ~ 2 ポイント前後減少しているのに対して、「3 時間以上」と答えた人の割合は 3.7 ポイント増加しています。

男女別にみても、「自由な時間はほとんどない」と答えた人の割合は、平成 18 年に比べ平成 21 年の方が減少し、「5 時間以上」と答えた人の割合は増加しています。

休日についてみても、男女ともに、「自由な時間はほとんどない」、「1 時間位」と答えた人の割合は、平成 18 年に比べ平成 21 年の方が減少し、「5 時間以上」と答えた人の割合は増加しています。

『3 時間以上』は、本来の選択肢の「3 時間位」と「4 時間位」と「5 時間以上」の割合を合計したものです。

問 14. あなたは、「仕事や家事などの日常的な活動の時間」や「睡眠や食事など生活に欠かせない時間」以外で、「趣味や娯楽など自分のために自由に使える時間」は、平均しておよそどれくらいありますか。A、Bのそれぞれについて1つずつ選んで 印をつけてください。

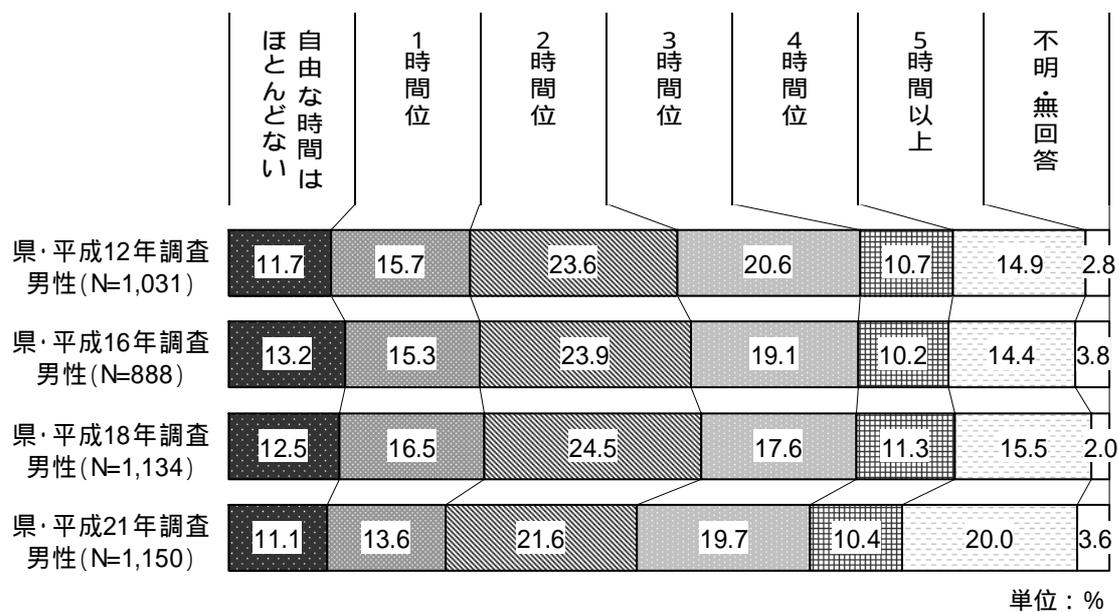
問 14 自分のために使える自由な時間について 《A 平日》 【全体】

	自由な時間はほとんどない	1 時間位	2 時間位	3 時間位	4 時間位	5 時間以上	不明・無回答
県・平成12年調査 全体(N=2,320)	13.6	14.7	23.4	20.8	10.2	14.6	2.8
県・平成16年調査 全体(N=2,112)	13.0	15.8	23.0	18.5	10.7	14.6	4.5
県・平成18年調査 全体(N=2,615)	13.7	15.8	22.9	18.8	12.2	13.6	3.1
県・平成21年調査 全体(N=2,558)	12.8	13.8	20.9	19.1	11.1	18.1	4.3

単位：%

県の平成 12 年調査、平成 16 年調査、平成 18 年調査、平成 21 年調査を比較すると、「自由な時間はほとんどない」、「1 時間位」、「2 時間位」と答えた人の割合は、平成 12 年から平成 21 年にかけて増減を繰り返し、平成 21 年では減少しています。

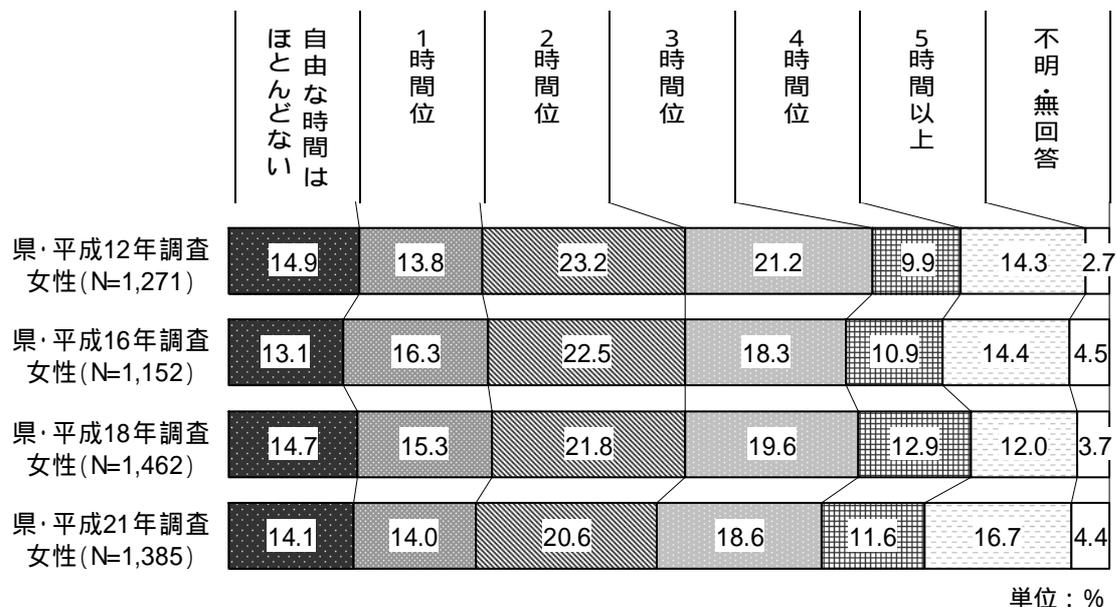
問 14 自分のために使える自由な時間について 《A 平日》 【男性】



県の平成12年調査、平成16年調査、平成18年調査、平成21年調査の男性を比較すると、「自由な時間はほとんどない」と答えた人の割合は、平成16年から平成21年にかけて減少しています。

「1時間位」と答えた人の割合は、平成12年から平成21年にかけて増減を繰り返し、平成21年では減少しています。

問 14 自分のために使える自由な時間について 《A 平日》 【女性】

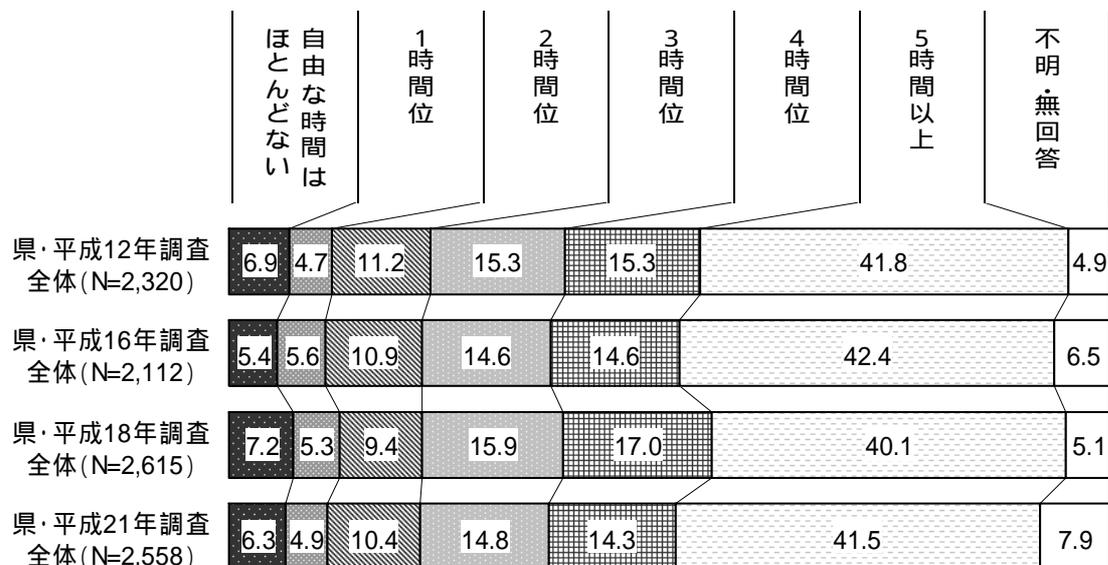


県の平成12年調査、平成16年調査、平成18年調査、平成21年調査の女性を比較すると、「1時間位」、「2時間位」と答えた人の割合は、平成16年から平成21年にかけて減少しています。

「自由な時間はほとんどない」と答えた人の割合は、平成12年から平成21年にかけて増減を繰り返し、平成21年では若干減少しています。

また、ほとんどの項目で平成18年に比べ平成21年の方が減少しているのに対して、「5時間以上」と答えた人の割合は増加しています。

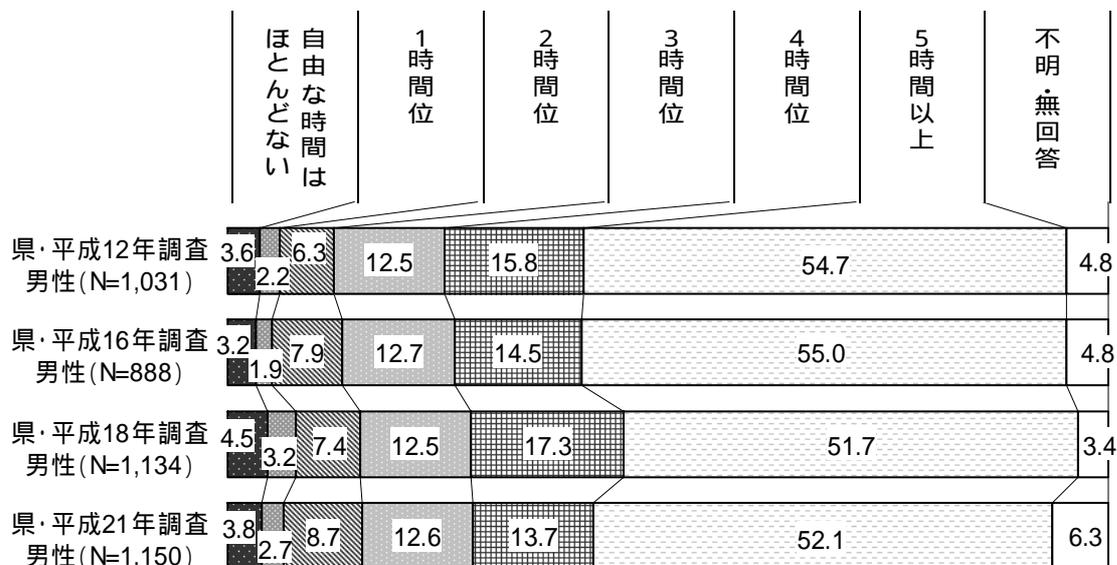
問 14 自分のために使える自由な時間について 《B 休日》 【全体】



単位：%

県の平成12年調査、平成16年調査、平成18年調査、平成21年調査を比較すると、各年ともに「5時間以上」が4割を超えて高くなっています。「3時間位」、「4時間位」と答えた人の割合は、平成12年から平成21年にかけて増減を繰り返し、平成21年では減少しています。

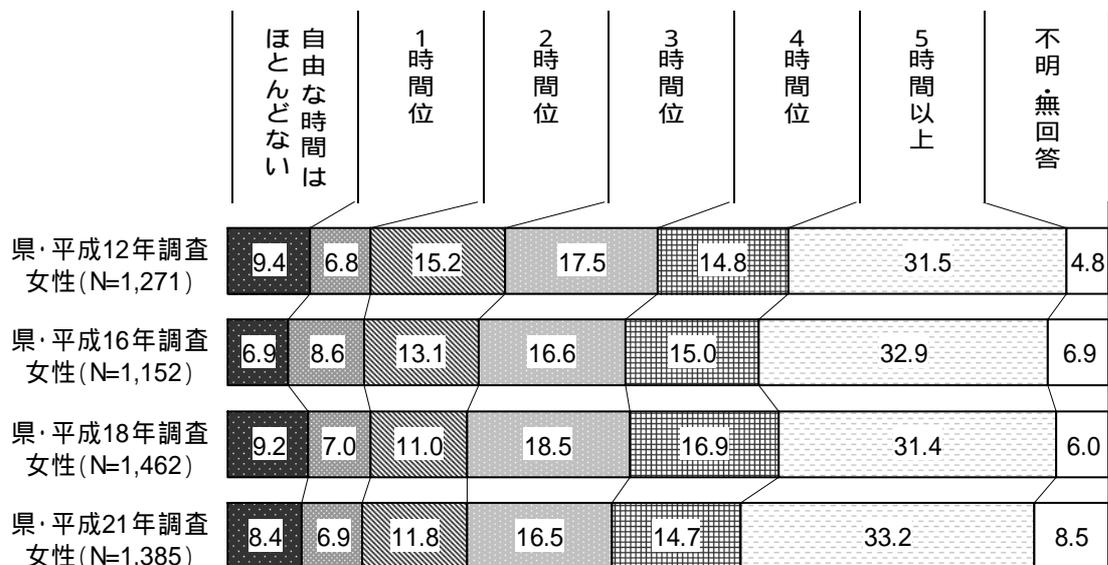
問 14 自分のために使える自由な時間について 《B 休日》 【男性】



単位：%

県の平成12年調査、平成16年調査、平成18年調査、平成21年調査の男性を比較すると、各年ともに「5時間以上」が5割を超えて高くなっています。「4時間位」と答えた人の割合は、平成12年から平成21年にかけて増減を繰り返し、平成21年では減少しています。

問 14 自分のために使える自由な時間について 《B 休日》 【女性】



単位：%

県の平成12年調査、平成16年調査、平成18年調査、平成21年調査の女性を比較すると、各年ともに「5時間以上」が3割を超えて高くなっています。「3時間位」と答えた人の割合は、平成12年から平成21年にかけて増減を繰り返し、「4時間位」と答えた人の割合は、平成12年から平成18年にかけて増加し、それぞれ平成21年では減少しています。

(5) 夫婦間での家事等の分担について

【分析のまとめ】

県調査では食事の後片付けや日常のゴミ捨てなど、多くの家事に関して、夫も関与している割合が増加しています。

県調査では多くの家事について、平成 18 年に比べ平成 21 年の方が、『夫も関与している』と答えた人の割合が増加していますが、特に食事の後片付けや日常のゴミ捨てについて、それぞれ 4.0 ポイント、5.5 ポイントと、その割合が増加しています。

P T A や地域の行事参加、親戚とのつきあい、近所とのつきあいにおいて、平成 18 年と比べると平成 21 年の方が「平等に分担している」と答えた人の割合は増加しています。

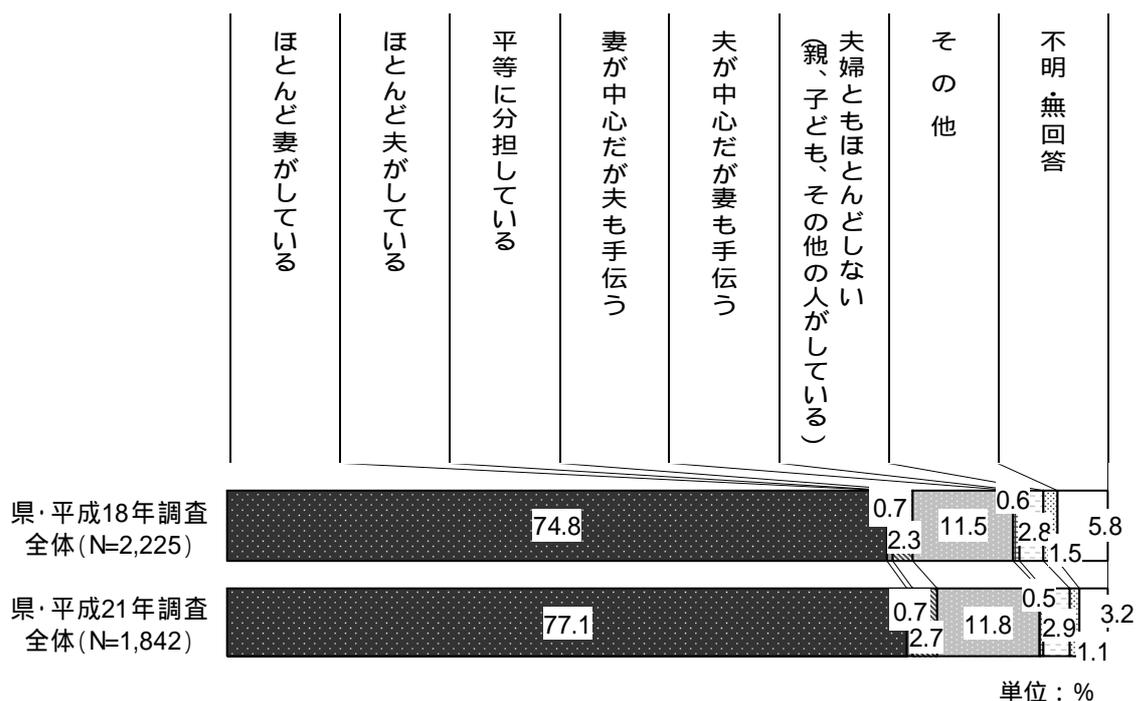
高額な商品の購入決定、親戚とのつきあい、近所とのつきあいについては、各年ともに「平等に分担している」と答えた人の割合が最も高くなっています。

『夫も関与している』は、本来の選択肢の「ほとんど夫がしている」、「平等に分担している」、「妻が中心だが夫も手伝う」、「夫が中心だが妻も手伝う」の割合を合計したものです。以下の A ~ H についても同様。

『妻が中心』は、本来の選択肢の「ほとんど妻がしている」と「妻が中心だが夫も手伝う」の割合を合計したものです。『夫が中心』は、「ほとんど夫がしている」と「夫が中心だが妻も手伝う」の割合を合計したものです。以下の I ~ M についても同様。

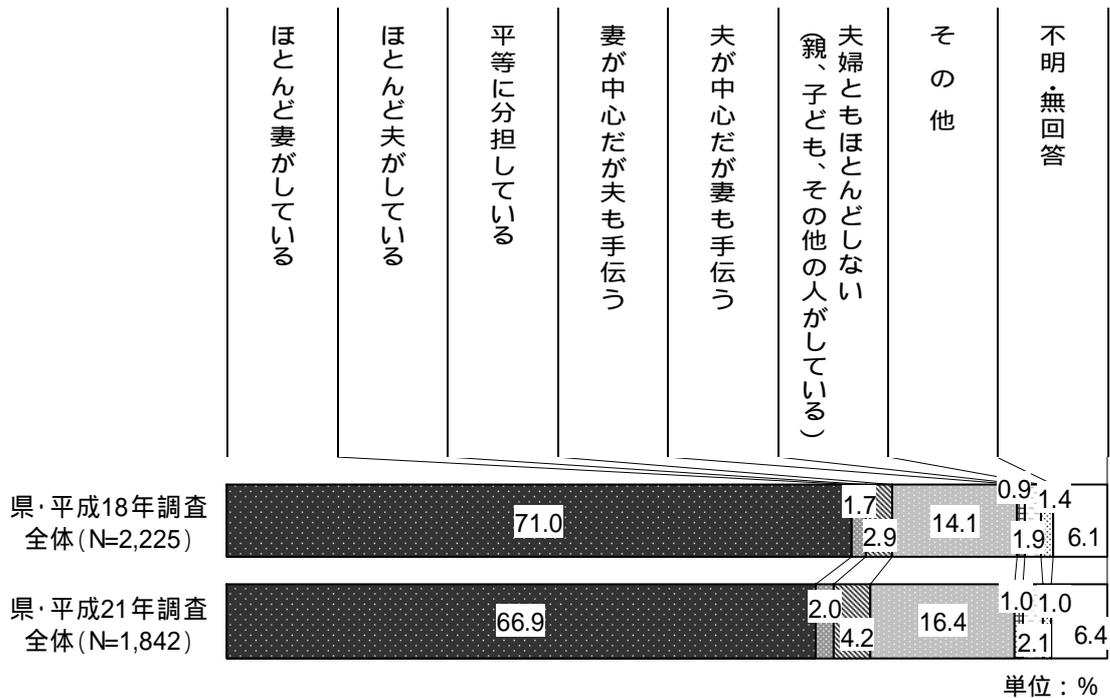
問 15. あなたの家庭では、A～Mのそれぞれについて、夫婦の間でどのように行っていますか。A～Mのそれぞれについて1つずつ選んで 印をつけてください。

問 15 夫婦間での家事等の分担について 《A 食事の支度》 【全体】



県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加していますが、『夫も関与している』と答えた人の割合は、ほとんど変化していません。また、各年ともに「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、7割以上となっています。

問 15 夫婦間での家事等の分担について 《B 食事の後片付け》 【全体】

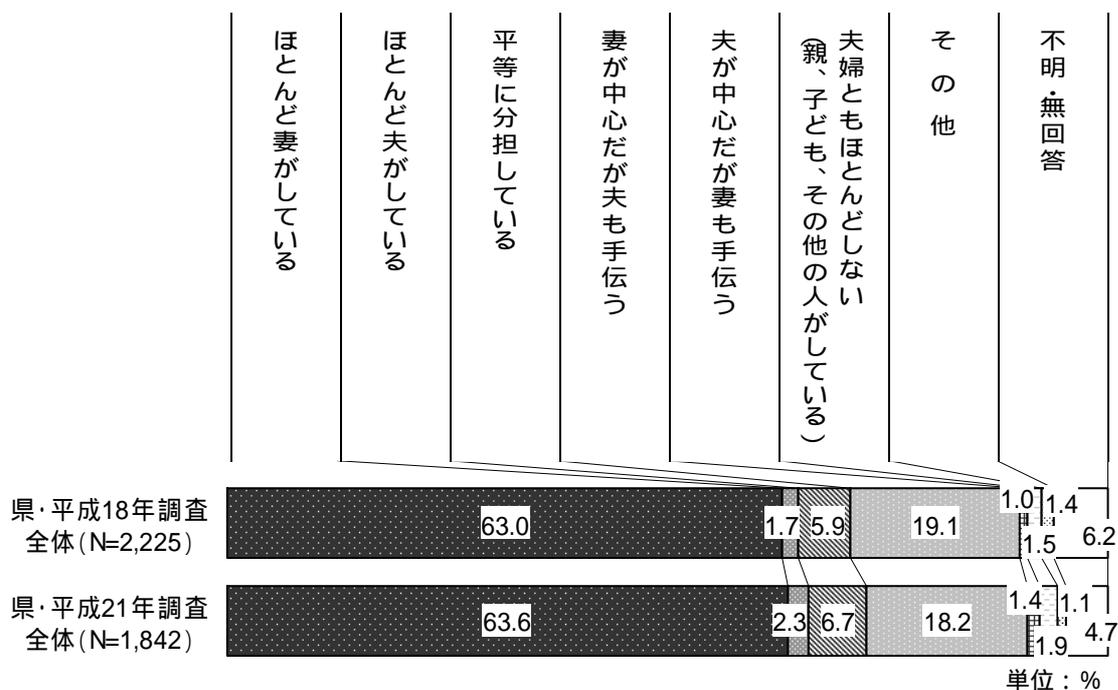


県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が減少しています。

「平等に分担している」、「妻が中心だが夫も手伝う」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が4.1ポイント減少しており、『夫も関与している』と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が4.0ポイント増加しています。また、各年ともに「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、7割前後となっています。

問 15 夫婦間での家事等の分担について 《C 家の掃除》 【全体】

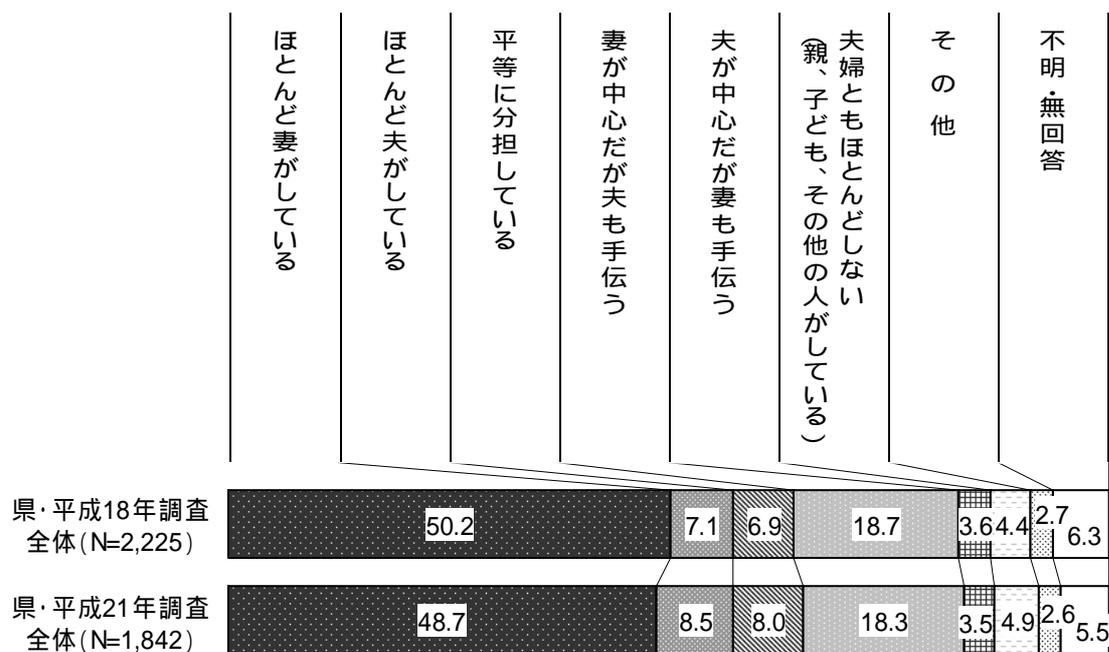


県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど妻がしている」、「平等に分担している」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

「妻が中心だが夫も手伝う」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が減少しています。

「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が0.6ポイント、「夫も関与している」と答えた人の割合は、0.9ポイントそれぞれ増加しています。また、各年ともに「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、6割以上となっています。

問 15 夫婦間での家事等の分担について 《D 入浴の準備及び風呂場の掃除》 【全体】



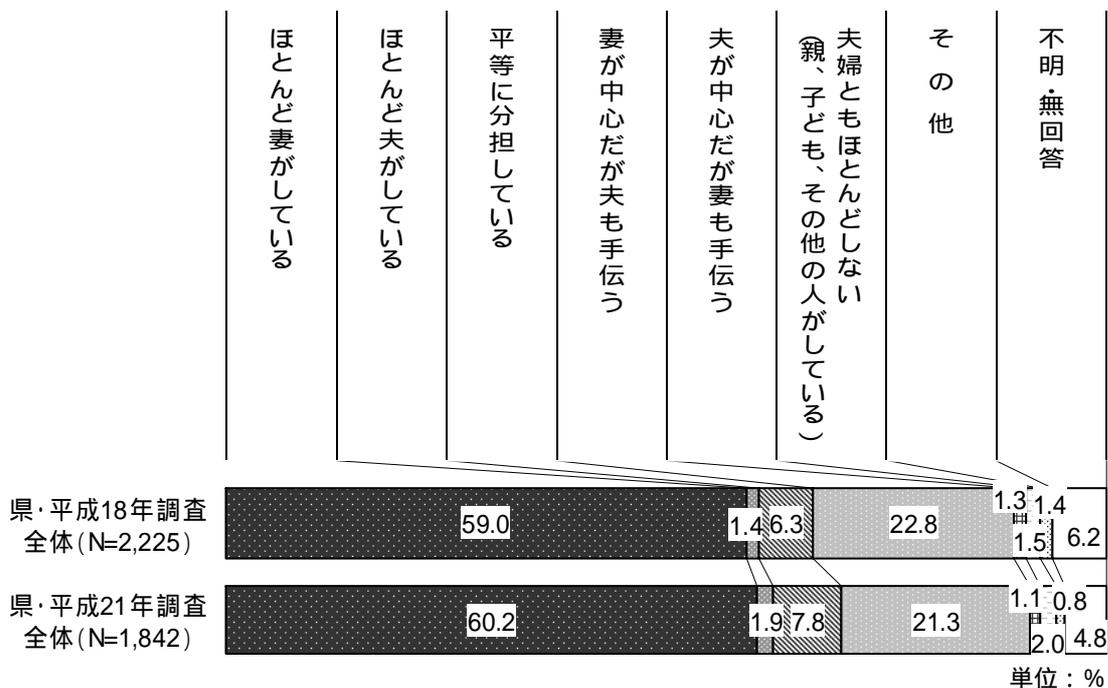
単位：%

県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が減少しています。

「ほとんど夫がしている」、「平等に分担している」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が1.5ポイント減少しており、『夫も関与している』と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が2.0ポイント増加しています。

問 15 夫婦間での家事等の分担について 《E 日常の買い物》 【全体】

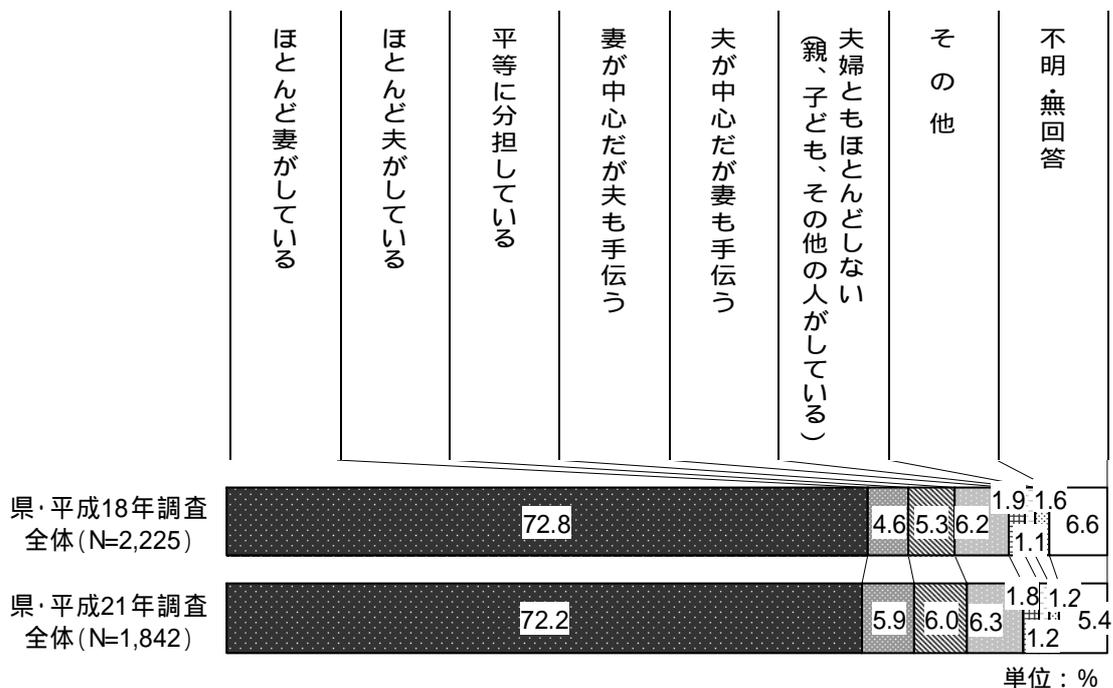


県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど妻がしている」、「平等に分担している」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

「妻が中心だが夫も手伝う」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が減少しています。

「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が1.2ポイント、「夫も関与している」と答えた人の割合は、0.3ポイントそれぞれ増加しています。

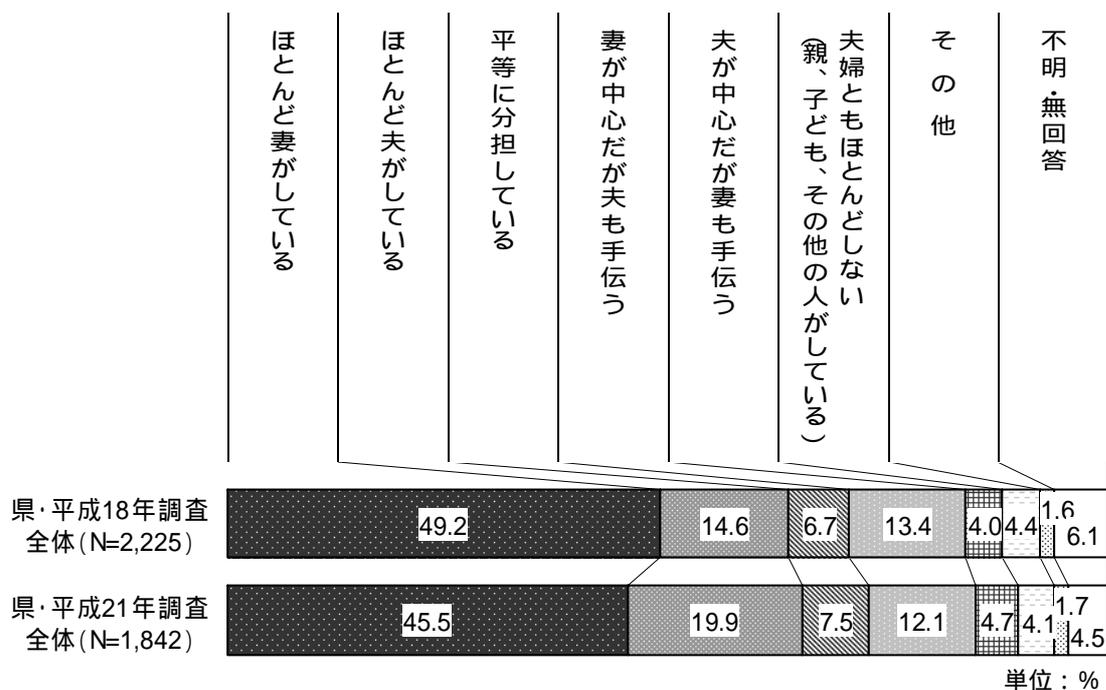
問 15 夫婦間での家事等の分担について 《F 日常の家計管理》 【全体】



県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど夫がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が0.6ポイント減少しており、『夫も関与している』と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が2.0ポイント増加しています。また、各年とも「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、7割以上となっています。

問 15 夫婦間での家事等の分担について 《G 日常のゴミ捨て》 【全体】

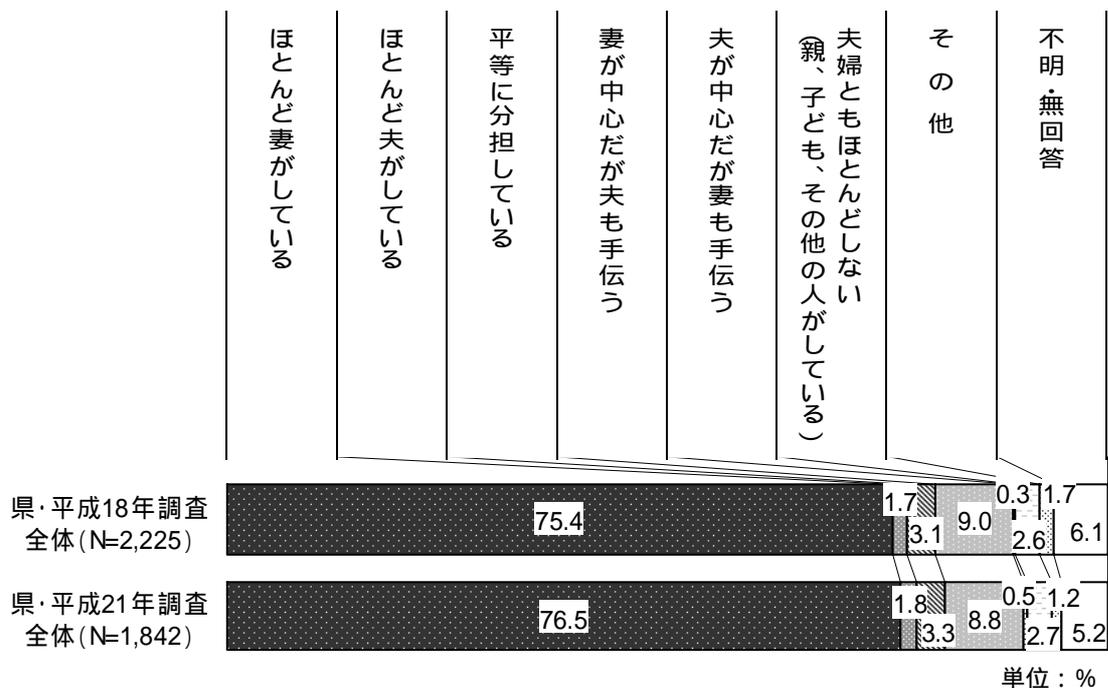


県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど妻がしている」、「妻が中心だが夫も手伝う」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が減少しています。

「ほとんど夫がしている」、「平等に分担している」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が3.7ポイント減少しており、『夫も関与している』と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が5.5ポイント増加しています。

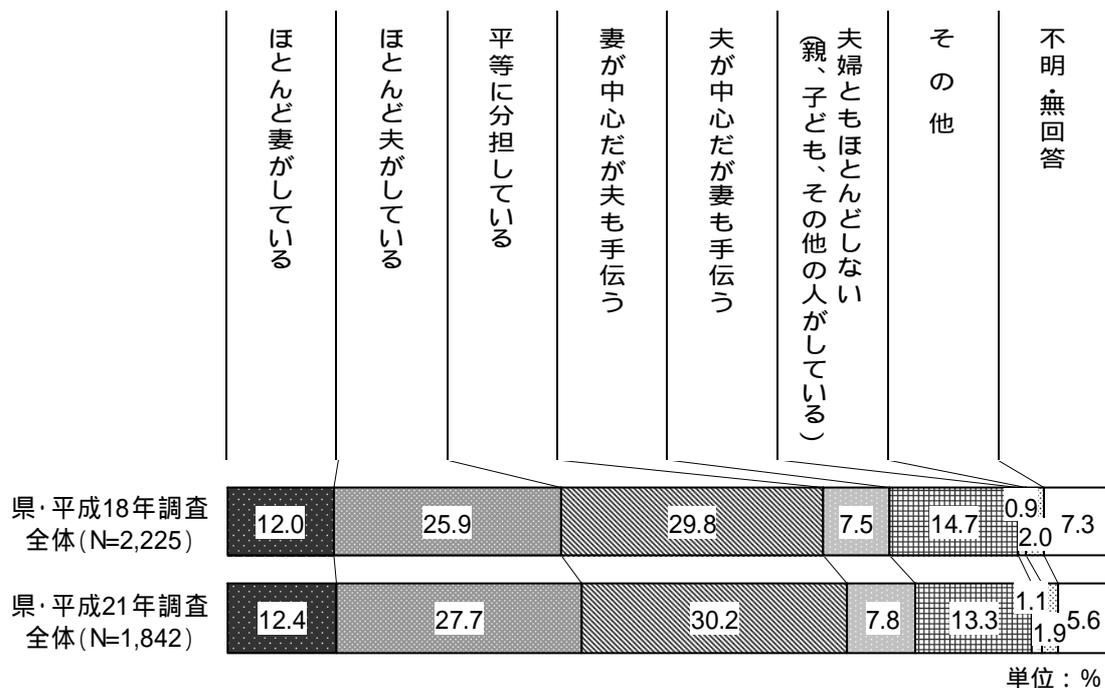
問 15 夫婦間での家事等の分担について 《H 洗濯》 【全体】



県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が1.1ポイント、『夫も関与している』と答えた人の割合は、0.3ポイントそれぞれ増加しています。また、各年ともに「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、7割以上となっています。

問 15 夫婦間での家事等の分担について 《I 高額な商品の購入決定》 【全体】

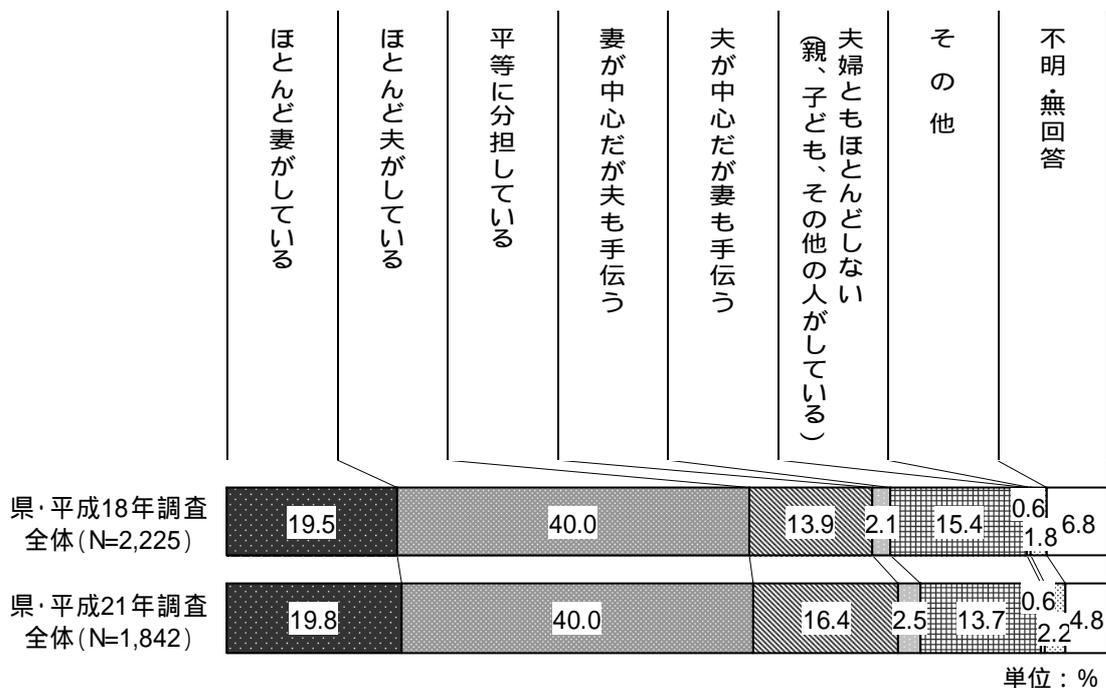


県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど夫がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

「夫が中心だが妻も手伝う」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が減少しています。

各年ともに『妻が中心』と答えた人の割合は、2割前後ですが、『夫が中心』と答えた人の割合は、4割以上となっています。

問 15 夫婦間での家事等の分担について 《J 生活費の確保》 【全体】

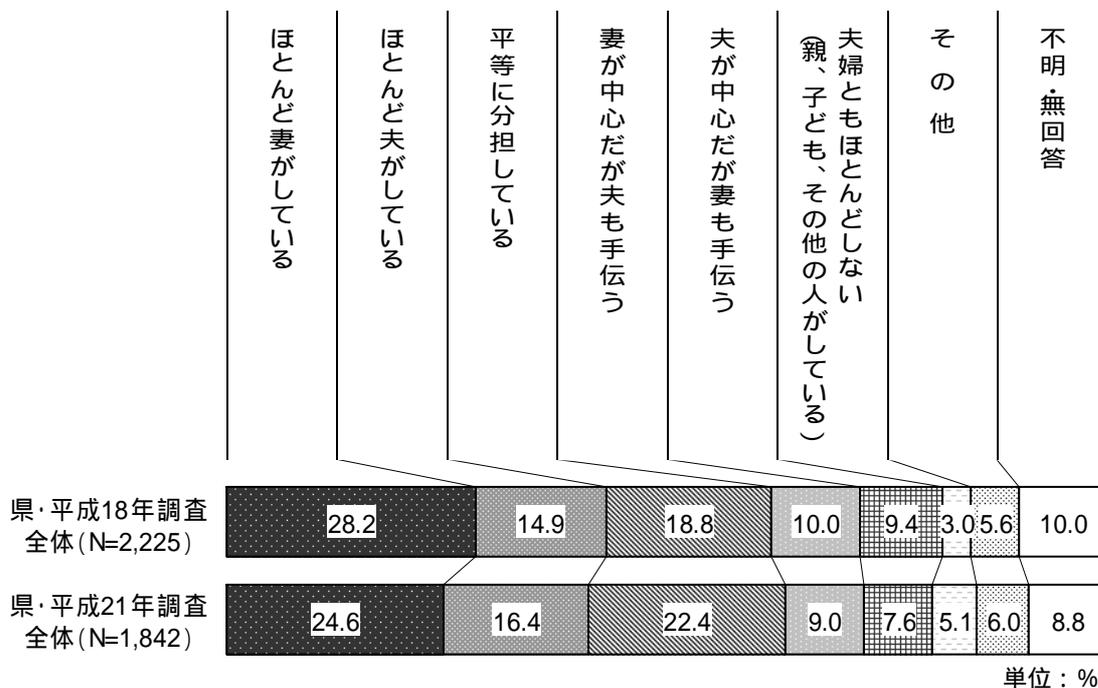


県の平成 18 年調査、平成 21 年調査を比較すると、「平等に分担している」と答えた人の割合は、平成 18 年に比べ平成 21 年の方が増加しています。

「夫が中心だが妻も手伝う」と答えた人の割合は、平成 18 年に比べ平成 21 年の方が減少しています。

各年ともに『妻が中心』と答えた人の割合は 2 割以上ですが、『夫が中心』と答えた人の割合は 5 割以上となっています。

問 15 夫婦間での家事等の分担について 《K P T A や地域の行事参加》 【全体】

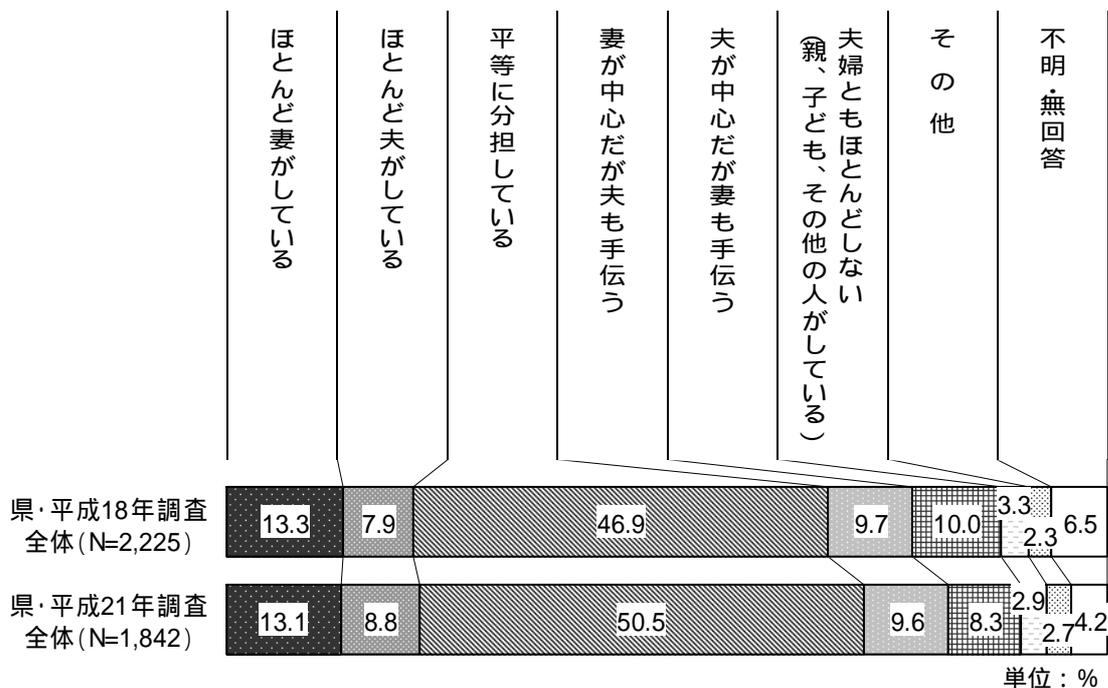


県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど妻がしている」、「夫が中心だが妻も手伝う」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が減少しています。

「ほとんど夫がしている」、「平等に分担している」、「夫婦ともほとんどしない(親、子ども、その他の人がしている)」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

『妻が中心』と答えた人の割合は平成18年に比べ平成21年の方が4.6ポイント減少しているものの、『夫が中心』と答えた人の割合を上回り、3割以上となっています。

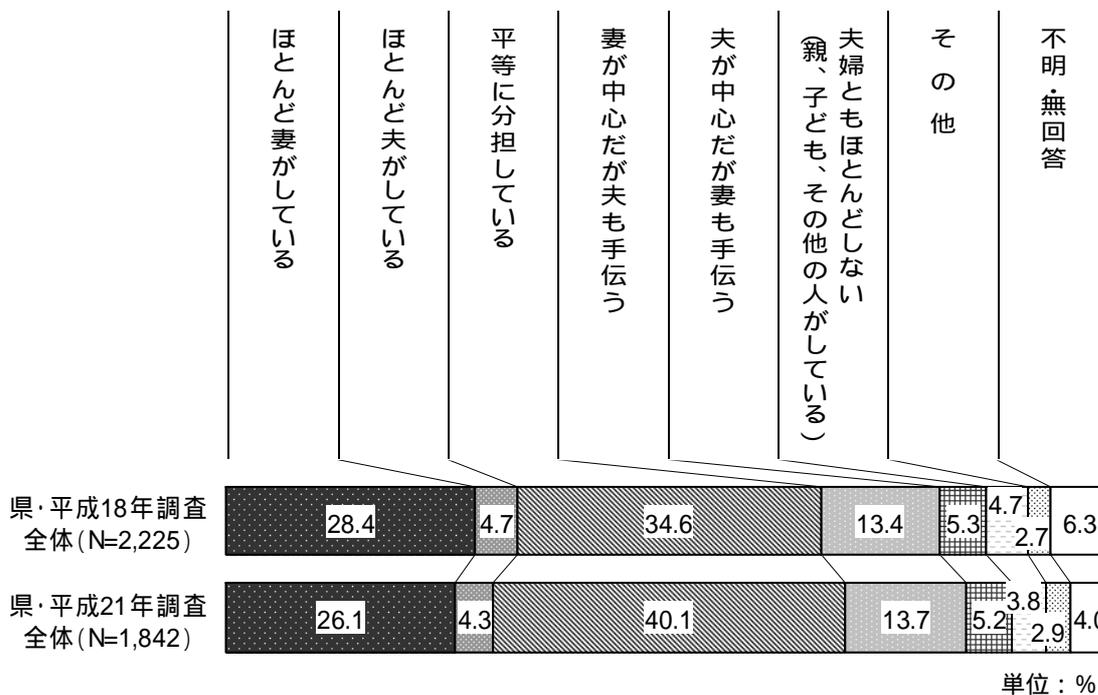
問 15 夫婦間での家事等の分担について 《L 親戚とのつきあい》 【全体】



県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「平等に分担している」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

各年ともに『妻が中心』と答えた人の割合は2割程度となっており、『夫が中心』と答えた人の割合よりもやや上回っています。

問 15 夫婦間での家事等の分担について 《M 近所とのつきあい》 【全体】



県の平成18年調査、平成21年調査を比較すると、「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が減少しています。

「平等に分担している」と答えた人の割合は、平成18年に比べ平成21年の方が増加しています。

各年ともに『妻が中心』と答えた人の割合は4割前後ですが、『夫が中心』と答えた人の割合は1割程度にとどまっています。